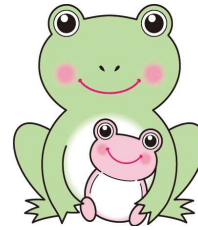
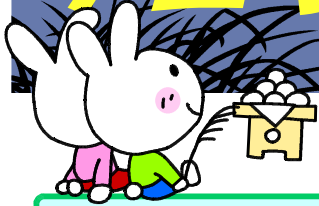


ケロちゃん通信 第15号

2016年 9月



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

9月の診療予定

		月	火	水	木	金	土
あたごこどもクリニック	8:35 ~ 12:00	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川 本間 (2・16日)	吉川 本間 (10日)
	13:45 ~ 15:30	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種 (第1・3週) 発達外来 (第2・4週)		乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	
	15:30 ~ 17:30	吉川	吉川		吉川	吉川 本間 (2日)	

受付開始：一般診療は午前8時35分、午後15時30分です。

☆一般診療

診療時間内に受診ください。予約は不要です。付き添いのお母さん等が体調不良の時もお気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。

☆発達外来 (第2・4火 13:30~15:30)

発達心配、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくをおこしやすい、ひきつけがある等の発達や神経に関する心配がある方もお気軽にご相談ください。

☆アレルギー外来(原則 第1・3金 9:00~12:00)

食物アレルギー、喘息、花粉症などでお困りの方は、ご相談ください。

☆予防接種、乳児健診、発達外来受診希望の場合には、電話でご予約お願いいたします。

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。

病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

☆暑い夏もうすぐ終わりです？

☆今年の夏は、ヘルパンギーナは流行しましたが、手足口病はあまりみられませんでした。これらの名前の付く病気以外の夏風邪(おそらく、エコーウイルス、エンテロウイルスなど)も多くみられました。急に高熱がでて、のどが痛くなってびっくりしますが、1、2日でよくなるお子さんが多かった印象です。おたふくもまだ流行っています。夏なのに、冬の感染症のRSも散発しています。

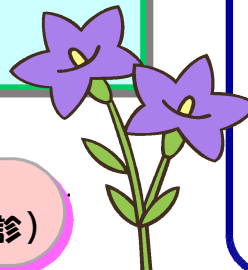
☆ヘルパンギーナは有名な病気ですが、まだ聞きなれない方も多いようで、ヘルパンギーナ、アルパンギーナ、へなんとか、と呼ばれるお母さん方もいらっしゃいました。日本ではヘルパンギーナと発音しますが、他の国の言語だと案外正しいのかもしれないね。それはそれで楽しいですね。

☆夏がすぎると、あっという間にインフルエンザワクチンの季節になります。昨年と違いワクチン自体の大きな変化はないようです。今年も9月中旬から予約をとりはじめ、10月初旬から接種開始予定です。

平日だけでなく土曜日午後インフルエンザワクチン外来を開きます。10月15日、11月12日、12月3日の予定です。お子さんだけでなく付き添いのおとうさん、おかあさんも希望があれば接種を行う予定です。近日中に詳細が決まり次第ご連絡いたします。

9月の休診予定：ありません。

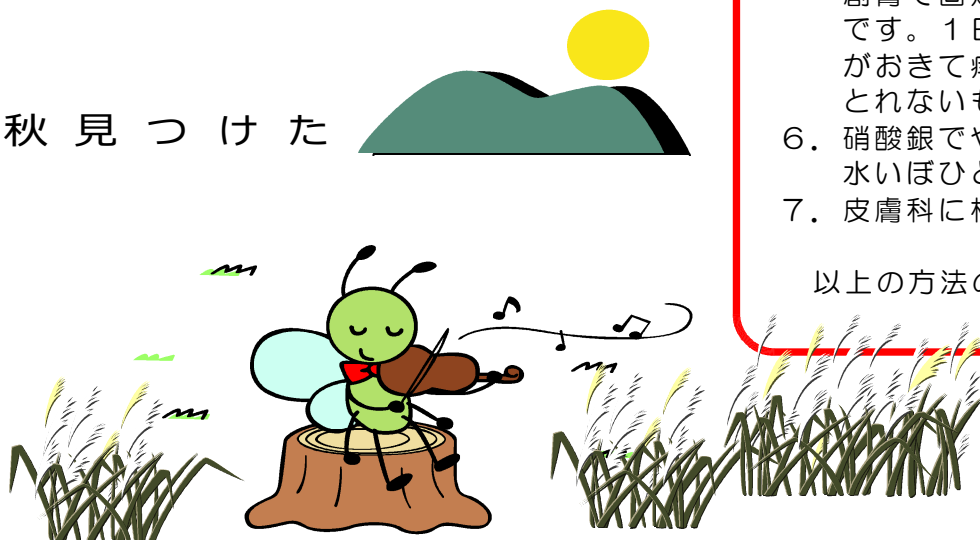
10日(土)は本間医師の代診になります(吉川休診)



水いぼの治療について

- 水いぼは、ウイルスによっておきます。
- 夏、プールの季節などに増え、外見的にも気になるお子さんも多いと思います。
- 自然治癒傾向が強く長期的にはよく治りますが、中には多発し、跡などが残ってしまうこともあります。治療法も様々な考えがあり、一定なものはありませんが、長所短所を踏まえ選択していただくこととなります。また水いぼは、皮膚がかさかさだったり、アトピーのお子さんに多い傾向があります。かゆくて掻くと掻きこわし、ウイルスが他について広がるのが特徴です。保湿剤も併用するのがよいと思われます。

小さい秋見つけた



具体的な治療法の選択肢

1. 自然に治るのを待つ。
2. 漢方薬（ヨクイニン）を2-3カ月内服する。
3. ハト麦茶を毎日飲む（ヨクイニンが含まれている）。
4. 痛み止めのテープを貼って、専用のピンセットでとる（予約が必要です）。
痛み止めのためのテープを小さく切って、水いぼの上に貼ります。1時間後、消毒してピンセットで水いぼをつまんでとります。そのあとに小さい絆創膏を貼って終わりです。1回10-30個くらいはとれます。処置中に眠ってしまって、終わるまで気が付かないようなお子さんもいるので、かなり痛みは和らいでいると思われれます。しかし、100%痛みがなくなるわけではないことはご了承ください。また水いぼをとったあとは多少傷跡が残ることもあります。
5. スピール膏を貼ってとる
消毒してスピール膏を小さく切ったものを、いぼの上に貼って絆創膏で固定します。健康な皮膚にははらないようにするのが大切です。1日1回張り替える必要があります。2~3日で炎症反応がおきて痒くなり、爪でひっかくとポロポロとれるようになります。とれないものは上記4のようにピンセットでつまんでとります。
6. 硝酸銀でやく
水いぼひとつひとつに硝酸銀をぬってやきます。
7. 皮膚科に相談する。

以上の方法の中で、お子さんにあった方法を一緒に相談しましょう